

## みやまの魅力が盛りだくさん!まるごとみやま市民まつり



JA農産物品評会表彰式



銀河ゆめゆめの漫才



小学生あいさつチャンピオン大会



12年ぶりに復活!「大きじ車ひっぱりぐっちょ」



みやまの食材を食べて当てる「みやまを探せ」



2日間で約2万1千人が市内外から来場



屋内ステージ



ERIKA MATSUOさんのジャズライブ

11月22日と23日、「第4回まるごとみやま市民まつり」が総合市民センターMIYAMAXで開催されました。ステージイベントや文化発表会、文化・健康・福祉に関する展示や露店などがあり、多くの人で賑わいました。また、「JAみなみ筑後農業まつり」も同時開催され、みやまの魅力をまるごと楽しめる2日間となりました。

## 市の文化財行政の発展に貢献



12月17日、元文化財専門委員の大城美知信さんが、福岡県教育文化表彰の受賞を教育長に報告しました。大城さんは平成2年から34年にわたり、本市の文化財保護、保存、継承に尽力され、市史編さんにも携わるなど、本市の文化財行政に多大な貢献をされました。

## 女性の活躍部門で内閣総理大臣賞受賞



12月17日、農業委員会会長などを務める徳永順子さんが、第64回農林水産祭「女性の活躍」部門で内閣総理大臣賞を受賞し、市長と共に知事に報告しました。長年にわたる遊休農地の解消や資源循環、女性活躍の場の創設などの取り組みが評価されたものです。

# みやまの令和7年を振り返る

## 市防災士連絡協議会を設立

2月



防災士間での連携を強化し、地域防災力の向上を目指す「みやま市防災士連絡協議会」が設立されました。

## 市学校安全の日を制定

2月



令和6年に発生した給食事故を忘れず、安全で安心な学校づくりを誓う「みやま市学校安全の日」を定めました。

## 産業の振興と雇用の創出へ前進

3月



みやま柳川IC北地区産業団地に関する企業立地協定を、ヤマエグループホールディングス株式会社と締結しました。

## きじ車の製作技術が無形民俗文化財へ

3月



清水系きじ車を含むきじ車製作技術が、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されました。

## 伝統産業の認知度と愛着向上を

4月



赤ちゃんが生まれた家庭へきじ車を、婚姻届を提出した家庭へ線香花火を贈呈する取り組みを始めました。

## 初の子ども議会体験会を開催

7月



市議会による初の開催で12人の子ども議員が参加し、質疑応答や採決などを体験しました。

## 地域で継承する花火の文化

7月~10月



7月から10月にかけて、市内5か所で花火大会が開催され、「花火のまち みやま」の空を彩りました。

## 高田小学校の新体育館が完成

8月



全体面積1,585.15平方メートルの体育館が完成し、高田小学校児童および一般の利用が始まりました。

## みやまっくす音楽祭 開催

8月



九州唯一の最高級フルコンサートピアノ「カワイ SK-EX」を中心とした音楽祭が開催され、20組が演奏しました。

## ワンヘルスセンター起工式で安全祈願

11月



保健医療経営大学跡地に県が整備するワンヘルスセンターの起工式が執り行われました。



# あなたの身近な相談相手に 3年に1度の改選 新たな民生委員・児童委員へ



☑ 福祉課 福祉総務・障がい福祉係 (Tel 64-1518)



令和7年12月2日、まいピア高田で、みやま市民生委員・児童委員および主任児童委員への感謝状伝達式と委嘱状伝達式が行われました。今回は57名の民生委員・児童委員が退任し、新たに82名(新任51名、再任31名)が地区から推薦され、委嘱されました。

民生委員・児童委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。任期は令和7年12月1日から令和10年11月30日の3年間です。子どもから高齢者までを見守り、地域福祉の充実のために活動しています。

## 地域のつなぎ役「民生委員・児童委員」

民生委員・児童委員は、介護の悩み、子育ての不安、経済的な心配事など、さまざまな相談に応じています。相談内容に応じて適切なサービスや関係機関へつなぐ「つなぎ役」を担っています。また、地域によってサロン活動や地域の行事への参加、地域福祉活動も行います。

地域住民の皆さまが安全・安心に生活するため、なくてはならない重要な活動を担う民生委員・児童委員。活動で知り得た情報を漏らしてはならない「守秘義務」があり、相談者のプライバシーを守ります。守秘義務は退任後も引き続き課されます。



## 子育てに寄り添う「主任児童委員」

民生委員・児童委員の中から選ばれる主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当します。学校や市役所などの関係機関と情報共有し、子育て世帯の抱える問題を把握して必要な支援につなぎます。

また、新生児の生まれた家庭に訪問する「赤ちゃん訪問」を、地区の民生委員・児童委員と共に行います。

各行政区の担当委員は、12月の回覧板でお知らせしています。不明な場合は、福祉課(Tel 64-1518)まで問い合わせください。

このたびの改選で、市民生委員児童委員協議会の会長に就任いたしました。

今回新たに51名の新任委員が委嘱されました。慣れないこともありますが、これまで活動を続けてきた再任の委員とともに民生委員児童委員協議会で力を合わせながら活動をしてまいります。

地域を取り巻く環境は複雑多様化し、日々変化しています。地域の皆さまのご協力を賜りながら関係機関に「つなぐ」という役割を果たすとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに努めてまいります。今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



市民生委員  
児童委員協議会  
会長 廣田 アキ子

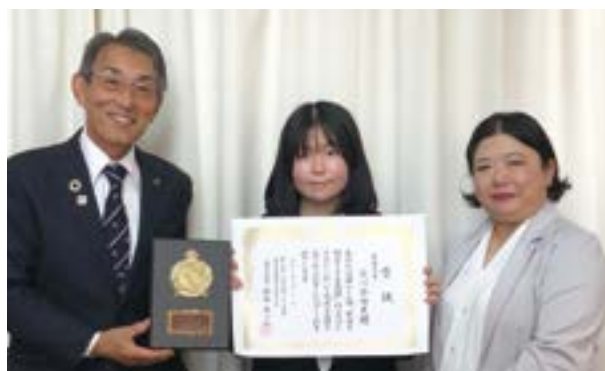
安心して暮らせる  
環境づくりのために

## 緊急時の迅速な対応に向けて



11月21日、緊急時の迅速な救急通報を可能とする「緊急通報システム」を使った公開訓練が高田小学校で行われました。今年度、市内の2小学校に整備されたもので、市消防本部の協力のもと、校内放送や119番通報、教職員の参集、児童への対応を訓練しました。

## 「立ち直る」を支え、明るい社会へ



第75回「社会を明るくする運動」の作文コンテストで、熊川奈瑚美さん(東山中学校3年)の「名のない苦しみ」が最優秀賞を受賞し、12月10日に賞状が伝達されました。熊川さんは、「再犯者の比率など、苦勞して調べて書いたので、とてもうれしい」と喜びを語りました。

## 家族で楽しくスポーツタイム!



11月29日、高田体育館で「健康づくり地域交流フェスタ」が開催されました。参加者たちは、アビスパ福岡のコーチと一緒に、転がしキックゴルフやキックターゲットピンゴなどに挑戦。子どもから大人まで楽しめるレクリエーションで、大いに盛り上がりました。

## 地域のために 地球環境のために



県の山川町甲田地区山間地盤整備事業を受託し、ルフランオフィスを利用する前田建設工業株式会社が、環境保全活動の一環としてルフランの屋上に太陽光発電設備を設置しました。発電された電力は、地域貢献の取り組みとして無償で市に提供されます。

## 作文を通して「税」を学ぶ



税について関心を持ち、正しい理解を深めることを目的とした、中学生の「税についての作文」(全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催)が行われ、11月下旬、東山中学校1年の石井 縁さんへ市長賞、高田中学校2年の石貫 有唯さんへ教育長賞が贈られました。

## すべてのこどもが幸せに生きる社会へ



12月14日、山川市民センターで「みやま人権デー」が開催されました。みやま合唱団くすっぴーによる歌や小中学生による人権作文発表、シンガーソングライターのmonさんによるトーク&ライブや子どもの人権パネル展示を通し、参加者は人権に対する学びを深めました。